



©Y.Koseki



©Makoto Kamiya



©Andrej Grlic

MARTHA ARGERICH

アルゲリッチ&フレンズ
イヴリー・ギトリスへのオマージュ

AND FRIENDS
HOMAGE TO IVRY GITLIS

2022年 **6/3(金)19時**
すみだトリフォニーホール

Friday, June 3, 2022 at 7 p.m. Sumida Triphony Hall

料金: S¥16,000 A¥12,000 B¥8,000
学生¥3,500(カジモト・イープラスのみの取り扱い)

主催: KAJIMOTO

共催: 公益財団法人 墨田区文化振興財団
(すみだトリフォニーホール指定管理者)

協力: 公益財団法人アルゲリッチ芸術振興財団

フランク: ヴァイオリン・ソナタ イ長調 (辻 彩奈&アルゲリッチ)
Franck: Sonata for Violin and Piano in A major

パガニーニ: カプリース op. 1 から 第24番 (辻 彩奈・ソロ)
Paganini: Caprice op. 1, No. 24

ルトスワフスキ: パガニーニの主題による変奏曲
(アルゲリッチ&酒井 茜)
Lutosławski: Variations on a Theme by Paganini

クライスラー: 愛の悲しみ (辻 彩奈&アルゲリッチ)
Kreisler: Liebesleid

クライスラー(ラフマニノフ編): 愛の悲しみ (酒井 茜・ソロ)
Kresler(arr: Rachmaninov): Liebesleid

ほか

*上記以外の曲目については現在未定につき、検討中です。
決まり次第、弊社WebやSNS等で発表させていただきます。

すみだトリフォニーホールのアルゲリッチ — 盟友ギトリスへのオマージュ

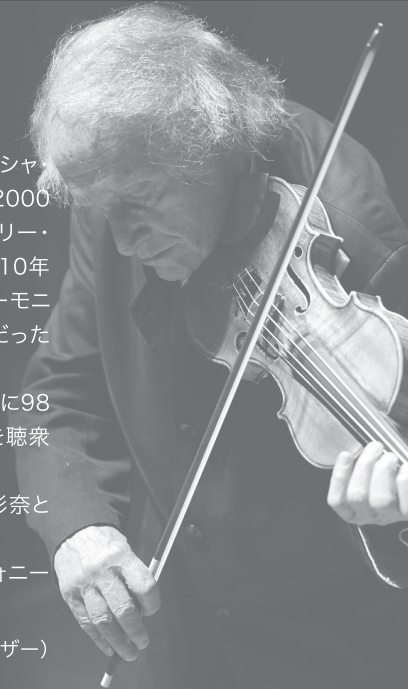
すみだトリフォニーホールがオープンして間もない1998年5月、マルタ・アルゲリッチはゴドン・クレーメル、ミッシェル・マイスキーとのトリオによるコンサート(世界初)を行って以来、このホールを大変に気に入ることとなった。そして2000年11月に行われた、師でもある歴史的なピアニストであった「A.B.ミケランジェリに捧げる会」(ソロおよび、イヴリー・ギトリスとのデュオ)、2005年1月にはフリードリヒ・グルダに捧げる公演「グルダを楽しく想い出す会」、そして2010年にはショパンとシューマンに捧げる特別なコンサート(両方とも、クリスティアン・アルミンク指揮新日本フィルハーモニー交響楽団と共演)にそれぞれ出演してきた。2020年には広島交響楽団との「Music for Peace」に出演予定だったが、コロナ禍で開催が叶わなかったのは返す返すも残念だった。

そして2022年6月、アルゲリッチは12年ぶりに再びすみだトリフォニーホールに戻ってくる。2020年12月24日に98歳で亡くなり、2022年8月25日に生誕100年となる盟友のヴァイオリニスト、イヴリー・ギトリスへのオマージュを聴衆と共有するためだ。

そこでアルゲリッチは長年の相棒で、ギトリスとの親交が深い酒井茜と、ギトリスと出会って衝撃を受けた辻彩奈とともに彼ゆかりの曲目を編んだ。

生き残っている者にできることは、亡くなった良き人を想い出すことである。それをアルゲリッチはいつもトリフォニーホールで感じさせてくれる。

佐藤 正治 (KAJIMOTO プロジェクト・アドバイザー)



マルタ・アルゲリッチ(ピアノ) Martha Argerich, Piano

アルゼンチンのブエノスアイレス出身。1955年に奨学金を得てヨーロッパに渡り、ロンドン、ウィーン、スイスでザイドルホーフアール、グルダ、マガロフ、リパッティ夫人、S. アスケナーゼに師事。57年のジュネーブ国際コンクール、そして65年にはショパン国際コンクールで優勝し、以来世界最高のピアニストの一人として、現代に至るまで指折りの見事な芸術活動を行っている。彼女の活気あふれる個性はもちろん19/20世紀の大作にふさわしいものだが、そのレパートリーは幅広く、超一流のオーケストラ、指揮者、音楽祭から頻りに招かれ、室内楽にも力を入れ、そして楽しんでいる。「みんなと生み出すハーモニーは、私に強くそして平和な気持ちを与えてくれます」とアルゲリッチは語る。

1998年から別府アルゲリッチ音楽祭の総監督を務め、2002年からはルガーノ・フェスティバル「マルタ・アルゲリッチ・プロジェクト」を、18年からはハンブルクでアルゲリッチ・フェスティバルを開催して、親しいソリストたちと出演を続けている。2015年から広島響の「平和音楽大使」に就任。フランスの芸術文化勲章オフィシエや、日本の旭日中綬章など、受章や叙勲も多い。



©Y.Koseki

辻 彩奈(ヴァイオリン) Ayana Tsuji, Violin

1997年岐阜県生まれ。2016年モントリオール国際音楽コンクール第1位。モントリオール響、スイス・ロマン管、ベトナム国立響、N響、読売日響、都響、東京フィル、名古屋フィル、大阪フィルなどと共演。18年第28回出光音楽賞受賞。19年のスイス・ロマン管とツアーをはじめ、その艶やかな音色と強靱で奥深い表現によって各方面から高い評価を得ている。東京音楽大学を卒業した後、東京音楽大学アーティストディプロマに特別特待奨学生として在籍中。コロナ禍にあって国内公演の代役で幅広く活躍したことは、レパートリーを広く拡充するとともに、経験を深く積むことにつながった。

使用楽器は、NPO法人イエローエンジェルより貸与のJoannes Baptista Guadagnini 1748。



©Makoto Kamiya

酒井 茜(ピアノ) Akane Sakai, Piano

桐朋学園大学を卒業後、ブリュッセル音楽院でモグレフスキー氏に学び、ギリロフやジゼルシュタインの各氏にも学んだ。クレメラータ・バルティカ、シンフォニア・ヴァルソヴィア、東京響などと共演し、室内楽ではアルゲリッチ、クレーメル、ギトリスらと演奏。ラ・フォル・ジュルネやアルゲリッチ音楽祭など、数多くの音楽祭からも招かれている。レパートリーは幅広く、最近では特にヴァインベルグ、シュビルマンなど第1次大戦後のユダヤ系ポーランド作曲家の作品演奏に力を入れている。

2018年よりハンブルクのアルゲリッチ・フェスティバルにおいて、アーティストック・プランナー。



©Andrzej Grlica

チケットのお申込み

カジモト・イープラス

検索

www.kajimotoeplus.com

カジモト・イープラス 050-3185-6728

※オペレーター対応(10:00~18:00)

ホームページからお申込みいただけます(パソコンもケータイも同じアドレス)。

“kajimotomusic”で検索! @kajimoto_News @kajimotomusic

チケットぴあ <https://t.pia.jp>
(Pコード: 217-778)
e+(イープラス) <https://eplus.jp/>

トリフォニーホールチケットセンター
03-5608-1212(受付時間10:00~18:00)
<https://www.triphony.com/ticket/web.php>



カジモト・イープラス

一般発売: 5/14(土) 10:00~

●やむを得ぬ事情により内容に変更が生じる場合がございますが、出演者・曲目変更などのために払い戻しはいたしませんのであらかじめご了承ください。
●未就学児のご入場はご遠慮いただいております。●団体料金の設定のある公演もございます。詳しくはお問合せください。

【感染症対策についてご協力のお願い】

ご来場の皆様安心してお聴きいただくため、当公演では新型コロナウイルス感染症に対する感染予防、拡散防止に細心の注意を払い、様々な対応策を講じた上で公演を実施いたします。
●会場内では正しいマスクの常時着用、入場時の検温、手洗い・消毒の励行にご協力ください。また、開場中・休憩中・終演後の、密集してのご歓談をお控えいただくようお願いいたします。
●発熱や咳などの症状がある方、新型コロナウイルス感染症陽性者と濃厚接触者をご入場いただけません。●クロークの営業は停止しております。お荷物のお預かりはできません。
●当日券をご購入のお客様には、お名前とご連絡先をご記入いただけます。 ※2022年4月現在のガイドラインに基づく対策です。詳細ならびに最新情報は公式ホームページでご確認下さい。